

調査者	氏名	〇〇〇〇		住所	〇〇〇〇〇〇〇〇									
	連絡先(電話)	〇〇〇〇〇〇		メールアドレス	〇〇〇〇〇〇〇〇									
対象物件	物件名	〇〇〇邸住宅		所在地	〇〇〇〇〇〇〇〇									
	法規制関係	都市計画区域	<input checked="" type="radio"/> 内・ <input type="radio"/> 外	防火地域等	<input checked="" type="radio"/> 22条・準防・防火					<input type="radio"/> その他				
		建物用途	専用住宅		工事種別	<input checked="" type="radio"/> 新築・増築・改修(その他:)								
	建築概要	建築年(西暦)	2018年		面積	延べ面積	130㎡	㎡	1階	90㎡	㎡	2階	40㎡	㎡
		主な仕上材	屋根材	日本瓦										
			外壁材	土塗り壁及び杉板張り										
			床材	カラマツ無垢床材										
			内壁材	漆喰塗及びカラマツ羽目板張り										
			天井材	構造材現し及び一部網代天井										
	断熱材の有無	外壁	有・ <input type="radio"/> 無・不明											
床		<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無・不明												
天井(屋根)		有・ <input type="radio"/> 無・不明												
写真(外観)														
	<p>※本棟造りはガイドラインの「要素の例」では「景観形成」の観点から、地域に根ざす建築形態として、長野県における地域特有の様式としてリストアップ(写真は川上建築設計室提供)</p>													
写真(内観)	  													
	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>左上：縁側・続き間 左下：桧材の網代天井(材料) 中：土塗り壁(施工中) 左：屋敷林(外部の要素)</p> </div>													

注1) 網掛けしたセルに調査結果を記載ください。(法規制地域等については該当する事項に○で囲んでください。) 調査表A-2も作成
 注2) 物件名は建物名称等を記載(住宅の場合は「〇〇邸」など)し、面積は概ねの面積でも構いません。
 注3) 仕上げや断熱材などの調査は可能な範囲とし、不明の場合は「不明」あるいは不明を○で囲んでください。
 注4) 写真は複数枚添付も可能。内観は本調査の趣旨に基づく特徴のある部分を撮影ください。(複数枚の場合は別紙でも構いません。)

調査表A-2

気候風土適応住宅の認定のガイドラインに示されている「表1の要素の例」を示しています。

調査建築物について該当する要素の「該当」欄に○印をしてください。

観点	区分	要素の例	該当	
様式・形態・空間構成	内部	内部空間	続き間	○
			縁側	○
			土縁	
			玄関(風除室)	
			高天井	
	建具	吹き抜け	○	
		引き戸形式の内部建具 欄間		
	内外境界部	屋根・軒	深い軒庇 越屋根	
		開口部	大きな窓(掃出し、連窓、引き込み形式、多層構成の建具等)	
			地窓 高窓、天窓	
外部	外部床(照り返しを抑制する部材) 中庭等 屋敷林	○		
構工法	構造部分	構造部材	無垢材である製材の使用	○
			断面が大きな構造材の使用 部材現し(軸組、床組、たるき、小屋組等)	○
		軸組・耐震要素	貫・差鴨居等の軸組	○
			土塗壁 板壁(落とし込み板壁等) 土塗壁以外で、外壁両側を真壁としたもの 外壁両面を木材現しにしたもの(校倉・丸太組構法等) 開放的な床下(石場建て・足固め等)	○
	小屋組・軒構法	和小屋組(多重梁) さす構造、たるき構造、登り梁 せがい造り、はね木(出し梁) 面戸板現し	○	
	接合方式・加工法	金物類の非使用 手刻みによる加工、伝統的な継手仕口	○	
	非構造部分(外部)	屋根	瓦屋根	○
			茅葺き屋根	
			板葺き屋根、樹皮葺き	
			荒板による屋根野地	○
			屋根通気ブロック	
			板張り壁 樹皮張り 雁木 高基礎壁 花ブロック	
	開口部	木製建具		
		下地窓、無双窓	○	
		雨戸、紙障子 格子		
非構造部分(内部)	内壁・内天井	塗壁(漆喰塗、珪藻土塗)	○	
		板張り壁	○	
		竿縁天井。網代天井、簀子天井	○	
	内部床	土間(三和土)		
畳(稲わら畳床) 床板張り仕上げ		○		
建材等	自然素材系断熱材 調湿材 古色塗り、漆塗り等	○		
材料・生産体制	地域材の使用	長野県産(地域)の木材使用 長野県産(地域)の自然素材の使用 長野県(地域)で生産される建材の使用	○	
	地域に根差した生産・維持管理の体制	技術の伝承 地域の住宅生産者が主導する体制 地域の大工、建築職員の登用	○	
景観形成	景観の維持・形成	地域に根ざす建物形態・材料の使用 周囲との調和・連担した外構、緑化計画	○	
	緑・生態系の維持	地域の植生を生かした緑化 緑の連担による生物の生息環境の保全		
住まい方	設備に頼らない暮らし	日常生活空間の縮小化 季節に応じた生活習慣(建具の入れ替え、打ち水、風鈴等) 季節ごとの衣類の着脱の工夫(冬期の厚着、夏期の薄着等) 局所的な採暖器具の利用(囲炉裏、炬燵等)	○	
	気象要素を制御・活用する暮らし	窓・雨戸の開け閉めの励行 すだれ・よしずの利用 雪囲いの利用	○	

調査表A-2に記載した住宅について、該当する「要素」を全て○を付けてください

調査表B-1

気候風土適応住宅認定指針策定に向けた提言のための調査表(部分要素版)

【本調査表は該当する要素ごとに作成してください。観点ごとに複数掲載も可能とします。】

長野県建築士会 気候風土適応住宅プロジェクト

調査者	氏名	〇〇〇〇		住所	〇〇〇〇〇〇〇〇		
	連絡先(電話)	〇〇〇〇〇〇		メールアドレス	〇〇〇〇〇〇〇〇		
物件名	〇〇〇〇〇〇			所在地	〇〇〇〇〇〇〇〇		
法規制関係	都市計画区域	(内)・外		防火地域等	②2条・準防・防火	その他	
建物概要	建物用途			工事種別	新築・増築・改修(既存(その他:))		
対象要素	観点	区分		該当	具体的な内容(ガイドラインの要素を参照)		
	様式・形態・空間構成	内 部	内部空間				
			建具				
		内外境界部	屋根・軒				
			開口部				
	構工法	構造部分	構造部材		○	無垢材である製材の使用・部材現し(小屋組み)	
			軸組・耐震要素				
			小屋組・軒構法		○	せがい造り	
			接合方式・加工法				
	非構造部分(外部)	屋根					
		開口部					
	非構造部分(内部)	内壁・内天井					
		内部床					
建材等							
材料・生産体制	地域材の使用						
	地域に根差した生産体制等						
景観形成	景観の維持・形成						
	緑・生態系の維持						
住まい方	設備に頼らない暮らし						
	気象要素を制御・活用する暮らし						
写真							
コメント	根羽杉の無垢材を柱や梁材をはじめとした構造部材に使用し、周辺家並みに併せて、せがい造りの構法を採用している。また、内外部ともに部材を現しにより内部空間と外観を構成している						

別の「観点」の要素がある場合は、別の調査表を作成してください。
【たとえば】地域材を使用し、地域の大工の手による施工の場合は、「材料・生産体制」の観点で調査表を作成

注1) 網掛けしたセルに調査結果を記載ください。(法規制地域等については該当する事項に○で囲んでください。)
 注2) 物件名は建物名称等を記載(住宅の場合は「〇〇邸」など)
 注3) ガイドラインを参照して該当する要素の「該当」に○をして、具体的な内容を記述してください。
 注4) 複数の要素がある場合は要素ごとに本様式を提出してください。)コメント欄に要素の概要を記述してください。